

耐震診断結果について

第一給食センター、第二給食センターは、現行の耐震基準（昭和 56 年改正）以前の基準によって建てられた建築物であるため、専門業者に委託して耐震性を確認する耐震診断調査を実施しました。

耐震診断の結果、補強の必要はありませんでした。

<診断結果>

施設名	耐震診断結果	耐震補強の必要の有無
第一給食センター	構造耐震指標（Is 値※①）が 1 階部分は 0.98、2 階部分は 1.22 で判定指標（Iso 値※②）0.75 をすべて上回っている。	補強の必要は無い
第二給食センター	Is 値が 1 階部分は 1.31、2 階部分は 1.35 で Iso 値 0.75 をすべて上回っている。	

<注釈>

※①：構造耐震指標（Is 値）…建物の耐震性能を表す指標で、地震力に対する建物の強度、また、建物変形能力・粘り強さなど、この値が大きいほど耐震性能が高い。

※②：構造耐震判定指標（Iso 値）…想定した地震動レベルに対して建物が安全のため必要とされる構造耐震指標値をいう。Is（構造耐震指標）と比較する値であり、耐震補強が必要かどうかの判定値となる。
なお、国立市耐震改修促進計画（平成 20 年 3 月策定）で学校以外の防災上重要な公共建築物の Iso 値は、基準値（0.6）に重要度係数 1.25 の割増をした 0.75 としているため、同計画に基づき 0.75 に設定しました。

●Is 値の目安（平成 18 年 1 月 25 日 国土交通省告示第 184 号による）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| Is < 0.3 | 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い |
| 0.3 ≤ Is < 0.6 | 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある |
| 0.6 ≤ Is | 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い |